

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう2

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

からから

がらがら

2 次のそれぞれの文の( )にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・のどがかわいて、( )だ。

・雨で観客が入らず、ホールは( )だ。

・山のように積み上げたブロックが、( )とくずれ落ちた。

・糸車が( )と回る。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 2

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

からから

水分がなくなつてかわいたようす。かたいものがふれあつて出る音。

がらがら

中に、ほとんど人や物がはいっていないようす。かたい物がぶつかつたりこわれたりする音。

2 次のそれぞれの文の( )にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・のどがかわいて、( からから )だ。

・雨で観客が入らず、ホールは( がらがら )だ。

・山のように積み上げたブロックが、( がらがら )とくずれ落ちた。

・糸車が( からから )と回る。

3 1の言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

晴天が続き、水をやってもすぐにプランターの土がからからにかわいてしまう。

学 年

高

擬音語・擬態語を使いわけよう 3

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねして表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)

擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

きんきん

きんきん

2 次の文のそれぞれの ( ) にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・真夏の太陽が ( ) と照りつける。

・湖の水面が ( ) と輝く。

・海にもれ出した油が、 ( ) と光っている。

・あこがれのスポーツ選手の話に、子どもたちは目を ( ) させた。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

Blank box for writing the answer to question 3.

学 年  
高

擬音語・擬態語を使いわけよう 3

年 組 氏名

☆擬音語は、動物の鳴き声や物の音などをまねて表した言葉です。(例・ワンワン、ピューピュー)  
擬態語は、ものごとのようすや、身ぶりなどの感じを、それらしい音で表した言葉です。(例・わくわく、うきうき)

1 次の二つの言葉の意味を、国語辞典で調べて書きましょう。

きらきら

美しく光りかがやくようす。

きらきら

強い光などが光るようす。

2 次の文のそれぞれの( )にふさわしい言葉を、1の二つの言葉から選んで書きましょう。

・真夏の太陽が( )と照りつける。

・湖の水面が( )と輝く。

・海にもれ出した油が、( )と光っている。

・あこがれのスポーツ選手の話に、子どもたちは目を( )させた。

3 1の二つの言葉のうち、どちらか一つを使って、文を作りましょう。

北の夜空に北極星がきらきらと輝いている。